

『牧之原市の文化財』冊子の発刊について

牧之原市には、国宝をはじめ、国や県、市指定の 107 件の文化財があり、これらの貴重な郷土の財産を理解し、学ぶものとして文化財を解説する資料が必要となりました。

これまで、牧之原市の文化財を紹介する冊子は、平成 17 年の合併以前に製作したものだけであり、これらも在庫がない状態であったため、市内の文化財を写真で紹介した冊子を作製することとなりました。

1 冊子の概要

(1) 作製経過

平成 22～23 年度の 2 カ年をかけて、市文化財保護審議会（矢部忠司会長）委員が、市内の文化財を踏査調査し、この調査結果に基づき解説文を作成しました。写真は、主に市担当職員が撮影したものです。

国の「住民生活に光をそそぐ交付金」事業として平成 22 年度に予算化し、繰越事業として平成 23 年度に作製したものです。

(2) 体裁

A 4 版縦型、4 色刷、100 頁（表紙を含む）
掲載写真点数 約 150 点

(3) 掲載内容

市内の文化財を短文で紹介する写真集として仕上がっており、文化財を国、県、市指定文化財の順で「建造物」「彫刻」「無形文化財」など 13 項目に分類して収録しています。

文化財の名称にはふりがなをふり、巻末には文化財所在地を示す「位置図」、特殊な用語の解説を添付しています。

表紙には、今年 3 月に重要無形民俗文化財に指定された「蛭ヶ谷の田遊び」を採用し、裏表紙には市ロゴマークを付しています。

(4) 作製部数

2,700 部

2 冊子の配布

市内の小中学校、文化財所有者、公共施設、地区公民館などに配布し、牧之原市史料館及び榛原文化センターで、1 冊 1,000 円で販売を予定しています。